

公益社団法人 日本経営工学会
第 35 期第 11 回理事会議事録

日 時：2021 年 5 月 8 日（土）13:00～15:00

場 所：Web 会議

出席者：（理事）松川弘明，中島健一，藤野直明，伊呂原隆，開沼泰隆，辛島光彦，小島貢利，
志田敬介，皆川健多郎，森川克己

（監事）大久保寛基，西口宏美

欠席者：（理事）西岡久充，八木英一郎

新型コロナウイルス感染症の影響により，Web 会議システム（Zoom）を用いて理事会を開催した。開催前に Zoom により出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認された上で議案の審議に入った。

議決事項

1. 入会の件

庶務担当理事（会員担当理事代理）より，資料（YGE20210508-1）に基づき，58 件（正会員 20 件，学生会員 38 件）の入会申し込み，1 件の資格復活申請，15 件の優秀学生賞受賞者の入会申し込みが報告され，全会一致で承認された。

2. 2020 年度事業報告の件

庶務担当理事より，資料（SDK20210508-1）に基づき，2020 年度事業報告の説明がなされ，全会一致で承認された。また，2020 年度事業報告資料について，今後体裁などを含めて軽微な修正が必要になった場合は，その修正を会長と庶務担当理事に一任することが確認された。

3. 2020 年度決算(案)の件

財務担当理事より，資料（KAI20210508-1）に基づき，2020 年度決算(案)の説明がなされ，全会一致で承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. 役員及び代議員選挙規則改正について

庶務担当理事より，資料（SDK20210508-2）に基づき，役員及び代議員選挙規則改正についての説明がなされ，全会一致で承認された。ただし，(新)第 10 条第 1 項の「その際の基準については，9 月の理事会で定める。」を「その際の基準については，告示前に理事会で定める。」に修正すること，(新)第 10 条第 3 項(1)の「その際の基準については，9 月の理事会で定める。」を「その際の基準については，告示前に理事会で定める。」に修正すること，(新)第 12 条第 2 項の「略歴書の記載内容は次のとおりとする。」を「略歴書の記載内容は次のものを含むものとする。」に修正すること，(新)第 8 章は削除し，(新)第 14 条の文言は(新)第 7 章の中に「(投票の案内) 第 14 条 選挙委員会は，選挙告示で広報した選挙開始日の前日までに，有権者に対して投票方法を案内

する。」として記載し、(新)第 17 条第 2 項(1)の「・・・正会員の支部構成比率を小数第 1 位まで求める。」を「・・・正会員の支部構成比率を求める。」に修正すること、(新)第 21 条第 1 項の「・・・、選挙の次点者の得票数によって順次当選者を繰り上げ補充する。」を「・・・、選挙の次点者の得票数によって繰り上げ補充する。」に修正すること、附則の「令和 3 年 5 月〇〇日改正する。」を「2021 年 5 月〇〇日改正する。」と和暦表記から西暦表記に修正することが提案され、その修正案が全会一致で承認された。また、過去に事務局や委員会の担当者の交代などでシステム導入費用の引継ぎが上手くいかなかった事例があり、今後オンライン投票のシステムを導入する際には、引継ぎの仕方に注意をすることが確認された。

2. その他 なし

報告事項

1. 退会の件

庶務担当理事（会員担当理事代理）より、資料（YGE20210508-2）に基づき、退会についての報告がなされた。

2. 協賛した行事について

国際渉外担当理事より、資料（IRT20210508-1）に基づき、15 件の協賛した行事についての報告がなされた。

3. 2021 年度定時総会について

庶務担当理事より、資料（SDK20210508-3）に基づき、2021 年度定時総会についての報告がなされた。

4. 業務執行状況報告

松川会長より、経営工学普及のための企業の訪問、来期の理事会への引継ぎ、賛助会員の増加、関連学会での挨拶の取り組みなどについて報告がなされた。藤野副会長より、① 政府の 2020 年度の総物流施策大綱会議検討会への構成員としての参加、② 検討会提言書の 3 つの柱の中の最優先事項が、物流 DX であり、③ 施策として明確に"高度物流人材育成の重要性と経営工学や数理科学の重要性"が書き込まれ、④ 物流やサプライチェーンマネジメント、オペレーションズマネジメントなどオペレーションやネットワーク設計問題や組織設計問題を含む経営工学の扱うテーマの重要性が明文化されたことが紹介された。⑤ また、政府により「高度物流人材シンポジウム」が開催され、経営工学会副会長として登壇、「過去 20 年間経営工学の重要性が海外諸国では注目され研究者も急拡大しているが日本ではビジネススクールが少ないこともあり文理の狭間で拡大ができていないため、今後の経営工学部門の拡大は物流 DX 推進に際して急務だ」と発言したことが紹介された。中島副会長より、70 周年記念特別功労賞の賞状の送付、70 周年記念事業の JIS の用語集の改定に関する取り組みなどについての報告がなされた。

5. その他

松川会長より、次期理事会への引継ぎについて確認がなされた。

議 長 松川 弘明 印

議事録署名人 大久保 寛基 印

議事録署名人 西口 宏美 印